

# 大阪公立大学

# 医学部創立80周年記念事業 市民公開講座



2024年 **10月27日(日)**  
14:30~16:30

大阪国際会議場 (開場 14:00)

**参加  
無料**

先着順  
定員 800 名

## 多様な分野から特別講演を開催



### 1 ゲームやギャンブルなどの行動嗜癖

講師：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学 教授

心身の健康や生活を脅かしているにも関わらず、特定の物質や行動をやめたくてもやめられない状態を依存や嗜癖と言います。昔はアルコールや薬物のように精神に作用する物質を摂取する物質依存が注目されていましたが、最近では、ゲームやギャンブルなど特定の行為にのめり込む行動（プロセス）嗜癖に注目が集まっています。物質依存も行動嗜癖も病気であり、正しい理解と対応が必要です。



### 2 「分子の眼」「量子の眼」で見る認知症

講師：樋口 真人 大阪公立大学大学院医学研究科 病因診断科学 教授

アルツハイマー病に代表される認知症は、全人的、社会的問題を引き起こす不治の病です。この事実を現在形から過去形に変えるべく、病態解明と診断・治療開発が進められています。特に分子プローブを用いた画像検査や、量子計測による体液検査は、認知症の超早期診断に変革をもたらす始めています。大阪公立大学が 2027 年に開設する新センターには、このような最新技術を病院診療と社会に実装する拠点としての役割が期待されます。



### 3 ワクチンについて考えよう ~予防接種政策の動向も含めて~

講師：福島 若葉 大阪公立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 教授

2021 年に新型コロナワクチンが国内で承認されたことをきっかけに、ワクチンの話題は、一般の方々にとっても身近なものになりました。一方で、ワクチンの有効率ってどんな意味？副反応と有害事象ってどう違うの？そもそもワクチンって必要なの？など、疑問に思われることがたくさんあるかもしれません。本講演では、予防接種政策に関する最近の話題もご紹介しながら、ワクチンによる病気の予防について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



### 4 乳がん診療の現状と未来に向けて

講師：柏木 伸一郎 大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学 教授

米国における乳がん死亡率は「検診の普及」および「治療の改善」により、約 20 年間で 58% 低下したことが明らかになりました。しかしながら本邦では、罹患率・死亡率はともに右肩あがりに上昇を続けています。大阪公立大学乳腺外科学では、『予防』『検診』『治療』における最新エビデンスの実践により、本邦における乳がん死亡率の低下を目指しています。本講演では、現在の乳がん診療の現状と未来に向けた展望をわかりやすく概説します。

司 会

植松 智

ゲノム免疫学 教授

大谷 直子

病態生理学 教授

御参加の  
お申し込みは  
こちらから  
お願いいたします。



## 交通アクセス

〒530-0005

大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51

- ・ JR 大阪駅からお越しの方は、リーガロイヤルホテルのシャトルバスをご利用ください。
- ・ 京阪電車中之島線 中之島駅（大阪国際会議場）（2 番出口）すぐ。

